

- 1 期 間 令和2年〇月〇日 (〇) ~ 令和2年〇月〇日 (〇)
- 2 場 所 第3学年〇組教室
- 3 学年・組 第3学年〇組 29名
- 4 単元名 Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう  
Unit 5 What do you like? 何が好き?

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領における領域別目標、話すこと [やり取り] イ「自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする」に当たる学習で、「Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう」と「Unit 5 What do you like? 何が好き?」を一つのまとまりとして扱う。

Unit 4 は、まず、好みを表す表現に慣れ親しみ、次に、自分の好みを伝え合う活動、そして、好みを交えて自己紹介し合うという言語活動へとつながる。児童にとって、自分のことを知ってもらうのは嬉しいことである。そのため、言語活動に意欲をもって取り組むと考えられる。Unit 4 の後半で、“Do you like ~?” という表現を使って、あるものについて好きかどうかを伝え合うことに続いて、Unit 5 では、“What ~ do you like?” という表現を使って、あるカテゴリーの中から何が好きかを伝え合う。このようなオープン・クエスチョンを使うことによって、情報交換がより活発になり、「知りたい!」「聞いてみたい!」「伝えたい!」と興味をもって活動に取り組むものと思われる。そして、Unit 5 の言語活動では、何が好きかを伝え合う表現を用いて、学級で最も人気のあるスポーツや食べ物などを調査する。

本単元では、「好きなもの」を題材としており、「自分の考えや気持ちを伝え合う力」を育てるために適した単元である。「好きなもの」については、普段の生活の中でも、食べ物やアニメキャラクターなど、様々なことに関して好き嫌いを伝え合う場面は多く、児童にとって身近で取り上げやすい話題であろう。ただ事実を伝えるだけでなく、自分自身の本当の考えや気持ちを伝え合うため、何とかして伝え合おうと努力することが期待できる。

(2) 児童観

(略)

(3) 指導観

指導に当たっては、以下に示す五つの工夫を取り入れる。

ア 安心できる授業環境

児童の外国語活動に対する高い学習意欲を強みと捉え、積極的に英語を使おうとする態度を大切にする。そのために、「間違ってもよいから英語を使おう」という雰囲気をつくる。授業中のあらゆる場面において、英語を使って伝え合おうとする意欲や態度を認めて称賛し、価値付けを行う。そうすることで、児童に「伝わった」という達成感や「自分にもできる」という有能感を積み重ねていく。また、教師自らが英語を使おうとするモデルとなり、児童とともに学ぶ姿を見せることで、安心できる授業環境をつくる。

イ 目的・場面・状況の明確化

児童が、「やってみたい」「楽しそう」という意欲をもってやり取りを行うために、コミュニケーションの目的・場面・状況の明確化を図る。コミュニケーションには、必ず目的があり、その言葉が発せられる場面・状況がある。「何のために、好みを表す表現を使うのか」ということを考えさせて、言語活動を行う。

本単元では、友達のことを知り、友達に自分のことを知ってもらい、学級のみんながもっと仲良くなるという目的で言語活動を行う。Unit 4 では、好みを交えて自己紹介し合う場面を設定する。Unit 5 では、何が好きかを伝え合う表現を用いて、学級で最も人気のあるスポーツや食べ物などを調査する場面を設定する。学級の友達と知り合って約半年が過ぎた頃であり、相手のことをある程度知っている状況で行うため、「〇〇さんは、何が好きかな?」と予想してやり取りすることができる。また、英語を使ったコミュニケーションが新たな一面を知るきっかけとなり、これまであまり喋ったことがなかった友達と仲良くなることも考えられる。

## ウ コミュニケーション・ストラテジーを用いた指導

自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てるために、コミュニケーション・ストラテジーを用いた指導を行う。コミュニケーション・ストラテジーとは、コミュニケーションを続けるための方略である。コミュニケーション・ストラテジーを用いた指導によって、児童は、あきらめずにやり取りを続けようとし、自分の考えや気持ちを伝え合う力を育てることができると考える。コミュニケーション・ストラテジーを用いた指導の学習過程を、次に示すように作成した。

学習過程	指導	目指す児童の姿	具体の発話
① 気付く	教師がコミュニケーション・ストラテジー使用のモデルを示す	何とかして伝え合おうとする考えや気持ちに気付く	「先生は、～と言っているのかな？」 「表情やジェスチャーを見たら、なんとなく分かったよ。」
② 使い慣れる	コミュニケーション・ストラテジーを用いたやり取りを体験させて、中間評価を行う	工夫して話したり、反応を返して聞いたりする	「困ったなあ…。」 「どうしたら伝え合うことができるのか考えよう。」 「それ、いいね。やってみよう。」
③ 実感する	ストラテジーリストを用いて振り返りを行う	意図的にコミュニケーション・ストラテジーを用いることを実感する	「～（使用）して話したり聞いたりしたのは、…（意図）だから。」 「何とかなりそう。」

- ① 「気付く」過程では、教師がコミュニケーション・ストラテジー使用のモデルを示す。モデルを示す際は、外国語を使ったやり取りの中でコミュニケーション・ストラテジーを使用し、その場面から伝え合おうとする考えや気持ちを推察させるようにする。
- ② 「使い慣れる」過程では、実際にコミュニケーション・ストラテジーを用いたやり取りを体験させて、中間評価を行う。児童がやり取りを体験する際は、外国語を使ってコミュニケーションを図る難しさを感じることを予想される。その困難さを認めることを大事にしたい。その上で、中間評価を行う際は、やり取りのよい例だけでなく、「本当はこう表現したかったけれど、うまく言えなかった」という困り感についても取り上げるようにする。そして、みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して、正確さよりも伝え合おうとする態度を価値付け、共有させるようにする。
- ③ 「実感する」過程では、ストラテジーリストを用いて振り返りを行う。ストラテジーリストとは、自分の考えや気持ちを「どのようにして伝え合おうとするか」を示したものである。振り返りの際は、「使用したストラテジーとなぜ使用したのか」を説明させることを通して、実際にやり取りを行っているときには無意識に使用していた場合であっても、意識化させるようにする。

## エ コミュニケーション・ストラテジーの提示

児童がどのような場面でどのストラテジーを用いるかを、自ら考えて選ぶことができるように、コミュニケーション・ストラテジーの種類を視覚的に示す。使用する場面については、話し手のときと聞き手のときを区別するとともに、コミュニケーションの不足を補う場合とコミュニケーションを促進する場合に分けて提示する。コミュニケーション・ストラテジーの提示によって、対話を続けようとするためには、どのようなストラテジーを用いるのか見通しをもたせたり、実際のやり取りにおいて、どのように伝え合おうとしてどのストラテジーを使ったのかを振り返ったりさせる。

## オ 視聴覚教材・ICTの活用

写真やイラスト、映像資料を提示することによって、新しく出会う語句や表現の意味を児童に推測させるようにする。視覚的な情報を手掛かりにすることも、限られた言語材料で何とかして自分の考えや気持ちを伝え合おうとするための工夫であることを認める。必要に応じて、実物を示す工夫も考えられる。また、デジタル教科書の音声聞いて繰り返したり、登場人物を相手にやり取りを行ったりすることを通して、英語の語句や表現に慣れ親しませるようにする。

6 単元目標

自分の好みを紹介したり，何が好きかを尋ねたり答えたりすることを通して，相手に伝わるように工夫しながら話したり，反応を返しながらかいたりして，自分の考えや気持ちを何とかして伝え合おうとする。

「主体的に学習に取り組む態度」

7 単元の評価規準

自分の好みを紹介したり，何が好きかを尋ねたり答えたりすることを通して，相手に伝わるように工夫しながら話したり，反応を返しながらかいたりして，自分の考えや気持ちを何とかして伝え合おうとしている。

「主体的に学習に取り組む態度」

8 単元の指導計画

※ 検証は毎時間の児童の様子を観察，発話記録，ワークシートの記述，事後調査を基に行う。

Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう

時	ねらい (◆) と主な活動 (○)	◎評価「観点」〈方法〉
1	◆ 色の言い方に慣れ親しみ，好きなものを表す表現を知る。	※ 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
	○ 慣れ親しむ活動 ・ 「What color?クイズ」 ・ My Rainbow 自分の虹をかこう ・ 【Let's Watch and Think①】 ・ 「好きな色を教えて」 ・ 【Let's Chant】 I like blue (①色編) ○ 振り返り	
2	◆ 好みを表す表現に慣れ親しむ。	※ 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
	○ 前時の振り返り ○ 慣れ親しむ活動 ・ 【Let's Chant】 I like blue (①色編) ・ 絵本読み聞かせ「びっくりいろあそび」 ・ 【Let's Listen②】 ・ 【Let's Chant】 I like blue (②スポーツ編) ・ 「カード・デスティニー・ゲーム」 ○ 振り返り	
3	◆ 好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ，自分の好みを伝え合う。	※ 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
	○ 前時の振り返り ○ 慣れ親しむ活動 ・ 【Let's Watch and Think②】 ・ 「○×クイズ」 ・ 【Let's Chant】 I like blue (③QA 編) ○ コミュニケーション活動 ・ 友達の好き嫌いを予想して，インタビューし合う ○ 振り返り	
4	◆ 相手に伝わるように工夫しながら話したり，反応を返しながらかいたりして，自分の好みを紹介し合おうとする。	※ 本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。
	○ 前時の振り返り ○ コミュニケーション活動 ・ 自分の好みを交えて自己紹介をし合う ○ 振り返り	

Unit 5 What do you like? 何が好き?

時	ねらい (◆) と主な活動 (○)	◎評価「観点」〈方法〉
5	<p>◆ 身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねる表現を知る。</p> <p>○ 帯活動 テーマ：好きな色</p> <p>○ 前時の振り返り</p> <p>○ 慣れ親しむ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの物の言い方を知ろう</li> <li>・ 「ポインティング・ゲーム」</li> <li>・ 「何が好き？」</li> </ul> <p>○ 振り返り</p>	<p>※ 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
6	<p>◆ 身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○ 帯活動 テーマ：好きなスポーツ</p> <p>○ 前時の振り返り</p> <p>○ 慣れ親しむ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【Let's Chant】 What do you like? (①色編)</li> <li>・ 「ステレオゲーム」</li> </ul> <p>○ 振り返り</p>	<p>※ 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
7	<p>◆ 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。</p> <p>○ 帯活動 テーマ：好きな食べ物</p> <p>○ 前時の振り返り</p> <p>○ コミュニケーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と好きなものをインタビューし合う</li> </ul> <p>○ 振り返り</p>	<p>※ 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
8	<p>◆ 相手に伝わるように工夫しながら話したり、反応を返しながら聞いたりして、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。</p> <p>○ 帯活動 テーマ：好きな○○</p> <p>○ 前時の振り返り</p> <p>○ コミュニケーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と何が好きかを尋ねたり答えたりする (クラスの「ベスト○○」調査)</li> </ul> <p>○ 振り返り</p>	<p>※ 本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
事後調査	<p>&lt;パフォーマンステスト&gt;</p> <p>○ ペアでテーマ「好きなもの」について伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し手と聞き手を交代して、1回とする</li> <li>・ ペアを変えて、2回行う</li> <li>・ 1回目のテーマ：好きな色、好きなスポーツ、好きな食べ物、好きな果物 既習の言語材料の中から相手に聞いてみたいカテゴリーを1つ選ぶ</li> <li>・ 2回目のテーマ：好きな○○ (アニメ、動物、遊びなど) 相手に聞いてみたいカテゴリーを自由に決める</li> </ul>	<p>◎ 「好きなもの」について、相手に伝わるように工夫しながら話したり、反応を返しながら聞いたりして、自分の考えや気持ちを何とかして伝え合おうとしている。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」 (パフォーマンステスト)</p>

9 言語材料

Unit 4

- I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue).
- like, do, not, don't, too, rainbow
  - 色 (red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown)
  - スポーツ (soccer, baseball, basketball, dodgeball, swimming)
  - 飲食物 (ice cream, pudding, milk, orange juice)
  - 果物・野菜 (onion, green pepper, cucumber, carrot)

Unit 5

- What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer).
- what, color
  - スポーツ (sport, volleyball, table tennis)
  - 飲食物 (food, hamburger, pizza, spaghetti, steak, salad, cake, noodle, egg, rice ball, jam)
  - 果物・野菜 (fruit, grapes, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon)

10 「自分の考えや気持ちを伝え合う力」の評価規準

自分の好みを紹介したり、何が好きかを尋ねたり答えたりすることを通して、相手に伝わるように工夫しながら話したり、反応を返しながらかいたりして、自分の考えや気持ちを何とかして伝え合おうとしている。

	外国語を使って、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている	コミュニケーション・ストラテジーを用いて、やり取りを続けようとしている			
		聞き手		話し手	
		達成方略	補償方略	達成方略	補償方略
A	既習の英語表現を使って、何が好きかを伝え合っている	B評価に加え、相手の発話を引き出す反応を返している	B評価に加え、相手の言ったことを確認したり、説明を求めたりしている	B評価に加え、言語による工夫を加えて伝えようとする	
B	単語やジェスチャーを使って、何が好きかを伝え合っている	相手の発話に適切に反応を返している	繰り返しをお願いしている	非言語による工夫を加えて伝えようとしている	
C	何が好きかを伝え合っていない	相手の発話に適切に反応を返さず、やり取りを続けようとしていない		伝えようとせず、やり取りを続けようとしていない	

※ 達成方略：コミュニケーションを効果的に促進し、成功に導くための方略

※ 補償方略：コミュニケーションに挫折が生じた際やコミュニケーション能力の不足を補うための方略

11 事後調査について

(1) 方法

- ① ペアをつくり、2人で「好きなもの」について伝え合うことを説明する。
- ② 英語を用いて、好きなものについてやり取りをする。
  - ・ 話し手と聞き手を交代して、1回とする
  - ・ ペアを変えて、2回行う
  - ・ 1回目のテーマ：好きな色、好きなスポーツ、好きな食べ物、好きな果物  
既習の言語材料の中から相手に聞いてみたいカテゴリーを1つ選ぶ
  - ・ 2回目のテーマ：好きな〇〇（アニメ、動物、遊びなど）  
相手に聞いてみたいカテゴリーを自由に決める

(2) やり取りの例及び評価規準

- 「おおむね満足できる」状況 (B) と判断する例

【達成方略 (コミュニケーションを促進するための方略) を用いたやり取りの場合】

児童 A : What sport do you like?

児童 B : I like soccer. (ジェスチャーを交えたり, 声を大きくしたりして)

児童 A : Good. (ジェスチャーを交えて)

【補償方略 (コミュニケーションの不足を補うための方略) を用いたやり取りの場合】

児童 B : What food do you like?

児童 A : I like ……えっと, えっと… (言葉に詰まる)

児童 B : What? (尋ねるような表情で)

児童 A : I like …hamburger. (ジェスチャーを交えて)

児童 B : Me, too. (ジェスチャーを交えたり, 声を大きくしたりして)

⇒ 児童 A も児童 B も「B」と判断する。

---

- 「十分満足できる」状況 (A) と判断する例

【達成方略を用いたやり取りの場合】

児童 A : What color do you like?

児童 B : I like red. (笑顔で)

児童 A : OK! Why? (知りたいという表情で)

児童 B : I like carp.

I like Seiya. How about you? (ジェスチャーを交えたり, 声を大きくしたりして)

児童 A : I like Kikuchi. (はっきりとした声で)

児童 B : I see. (うなずきながら)

【補償方略を用いたやり取りの場合】

児童 B : What 遊び do you like? (場合によっては, 日本語の使用も認める)

児童 A : I like Atsumori.

児童 B : Atsumori, OK? (確かめるような表情で)

児童 A : Yes. I like Atsumare dobutsu no mori.

児童 B : What is Atsumare dobutsu no mori? (分からないという表情で)

児童 A : It's a game.

Um…, 無人島で…, fish キャッチ 虫 キャッチ (ジェスチャーを交えて)

児童 B : Wow! (笑顔で)

⇒ 児童 A も児童 B も「A」と判断する。

---

- 「努力を要する」状況 (C) と判断する例

【方略を用いていない】

児童 A : What sport do you like?

児童 B : I like soccer. (相手の方を見ないで, 聞こえない声の大ききさで)

児童 A : … (繰り返し等をお願いせず, やり取りを続けようとしていない)

⇒ 児童 A も児童 B も「C」と判断する。

単元名 Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう 1 / 8時間  
ねらい 色の言い方に慣れ親しみ, 好きなものを表す表現を知る。

学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 英語で挨拶をしたり, 質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T: Good morning, everyone. S: Good morning. T: How are you? S: I'm fine. How are you? T: I'm fine, thank you. T: What day is it today? S: It's (Friday). T: What's the date today? S: It's (October 16<sup>th</sup>). T: How's the weather today? S: It's (sunny) and (hot).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように, 英語で挨拶させたり, 気分や曜日, 天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">コミュニケーション・ストラテジー</p> <p style="text-align: center;">(以下CSs)「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において, 教師がCSs使用のモデルを示す。 ジェスチャー, 表情, 視線, 具体物, 指差し, 口調 など</p> </div>	
<p>2 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) 「What color?クイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>TVに映った白黒の写真を見て, 何色かを尋ねる問いに対して, 自分の思う色を答える。</li> </ul> <p>T: What color is it? S: Red!</p> <p>(2) My Rainbow 自分の虹をかこう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの虹を自由に塗り, 自分の虹を完成させる。</li> </ul> <p>T: Please color the rainbow. Please make your original rainbow.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が英語の色の言い方に興味をもつことができるように, クイズを行う。写真は, 色のイメージが一致しそうなものから順に提示し, 徐々に, 一人一人の自由なイメージへと広がるようにすることで, 自分の思う色を言いたくなるようにする。(例: ポスト→信号→果物や動物など)</li> <li>児童が多様な考え方を出しやすくなるように, 児童が答える色は, なぜそう思ったのかを質問するなどして, どれも認めるようにする。また, 英語で言うことが難しいものは, 日本語で表現してもよいことを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">CSs「気付く」</p> <p>教師が反応を返すことによって, 聞き手の反応の仕方やその意図に気付かせる。 <b>OK. Wow! Good! Great!</b> <b>Me, too. (繰り返し)!</b> ジェスチャー など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>単色ではなく多色で構成された虹を提示することによって, より多くの表現に出会わせるようにする。自分の思う色を自由に言わせた後で, 虹を描く活動へとつなげる。</li> <li>虹を描く活動の間, “The Rainbow Song”をBGMとして流すことによって, 色塗りが進まない児童に, どんな色が聞こえてきたか尋ねたり, 聞こえた色を言わせたりして, 色に関心を向けさせるようにする。</li> </ul>	

色をつたえよう

T : What color is it?

S : Red, Light green, Purple, Orange, Light blue, Yellow, Green, White, Pink など。

(3) 【Let's Watch and Think①】

- ・ 映像資料で、世界の子供たちが虹を描く様子などを視聴し、自分たちの作品との違いや共通点に気付く。

T : Please watch this video.

What color can you see in the rainbow? Are they beautiful?

- ・ 児童が目的をもって活動できるように、本時は色の言い方に慣れ親しむことを伝える。
- ・ 塗った色や順などを尋ね、色の言い方を何度も聞かせたり言わせたりすることを通して、色の言い方に慣れ親しませるようにする。

- ・ 外国の子供たちはどのような虹を描くのか、児童の興味・関心を高めながら映像資料の視聴につなげ、自分たちの作品との違いや共通点を見つけることを通して、多様な考え方があることに気付かせる。
- ・ どのような色で描かれているかを児童と確認することを通して、児童に色の言い方を繰り返し聞かせたり言わせたりして、色の言い方に慣れるようにする。

CS s 「使い慣れる」

児童に反応を返すことを促す。

OK. Wow! Good! Great!

Me, too. (繰り返し)!

ジェスチャー など

(4) 「好きな色を教えて」

- ・ 指導者の話を聞いて、好きなものを表す表現を知る。

T : What color is this?

This is ~. I like ~.

- ・好きなものを表す表現に気付かせるために、児童のよく知っているキャラクターなどをさし示しながら、好きな色を紹介する。

CS s 「気付く」

表情やジェスチャーなどを手掛かりにして、I like ~.の表現に気付かせる。

すきな色をつたえよう

- ・ 指導者とのやり取りに応じて、自分の好きな色を言う。

T : You like ~.

S : I like ~.

- ・ 第2時で好みを表す表現を使う活動につながるように、好きな色の言い方を知ったことを確認する。

- ・ 自分の考えや気持ちを伝え合うために、児童の本当に好きな色を言わせるようにする。

- ・ 児童に I like ~. You like ~. の表現を何度も聞かせるようにするために、黒板に掲示してある色カードをさしながら児童に I like ~. Yes? No?などと問いかけ、発話を促す。児童の答えに応じて、児童をさして You like ~. 自身をさして I like ~. と何度も繰り返して言う。

<p>(5) 【Let's Chant】 I like blue (①色編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声に合わせてチャンツを言う。</li> </ul> <div data-bbox="240 510 555 685" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>“I like blue.” (色編) Blue, blue, I like blue. Pink, pink, I like pink. Red, red, I like red. Wow! Beautiful!</p> </div>	<div data-bbox="715 73 1262 353" style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>CSs 「使い慣れる」 児童に反応を返すことを促す。 OK. Wow! Good! Great! Me, too. (繰り返し) ! ジェスチャー など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>I like ~.の表現に慣れ親しませるために、チャンツを言わせる。色の言い方に慣れ親しませるために、色カードを指し示しながら、児童と一緒に言う。</li> </ul>	
<p>3 振り返り</p> <p>(1) 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードにCSsを使用したかどうかを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSsの使い方に気付き、使い慣れていくことができるように、使用した場面に応じて振り返りを行い、できるようになったことやできるようになりたいことを記述させる。</li> <li>学習内容をより深めることができるように、数名の児童に発表させる。</li> <li>児童の学習意欲を高めていくことができるように、英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。</li> </ul>	
<p>4 挨拶</p> <p>(1) 挨拶をする。</p> <div data-bbox="172 1272 579 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Good bye, everyone. S : Good bye. T : See you, next.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時に向けて、英語への関心をつなげることができるように、笑顔で挨拶をする。</li> </ul>	

板書計画

Clear Voice

Always Smile

Reaction

Eye contact

すきな 色をつたえよう

I like ~.

色カード

Today's menu

- 1 Greetings
- 2 Game Time
- 3 Activity
- 4 Let's Watch and Think
- 5 Key Phrases
- 6 Let's Chant
- 7 Reflection Time

学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 英語で挨拶をしたり，質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : Good morning, everyone.                      S : Good morning.                      T : How are you?                      S : I'm fine. How are you?                      T : I'm fine, thank you.                      T : What day is it today?                      S : It's (Tuesday).                      T : What's the date today?                      S : It's (October 20<sup>th</sup>).                      T : How's the weather today?                      S : It's (sunny) and (hot).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように，英語で挨拶させたり，気分や曜日，天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>コミュニケーション・ストラテジー                      (以下CSs)「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において，教師がCSs使用のモデルを示す。                      ジェスチャー，表情，視線，具体物，指差し，口調 など</p> </div>	
<p>2 前時の振り返り</p> <p>(1) 指導者と数名の児童でやり取りし，I like～.の表現を想起するとともに，第4時に行う言語活動の見通しをもつ。</p> <p>T : Hi, I like ~.                      S : Good!                      S : Hi, I like ~.                      T : Me, too.</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>CSs「気付く」</p> <p>ストラテジーリストを提示し，聞き手の反応の仕方について学習したことを想起させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>数名のボランティア児童を募り，やり取りを行って見せることで，第4時で行う自己紹介をイメージできるようにする。</li> <li>言語活動の見通しをもつことができるように，言語活動の目的を伝える。Unit 4では，好みを伝え合うことによって，友達のことを知り，友達に自分のことを知ってもらい，学級みんながもっと仲良くなるために，自己紹介の場面を設定する。</li> </ul>	
<p>3 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) 【Let's Chant】 I like blue (①色編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声に合わせて英語を言う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>“I like blue.” (色編)                      Blue, blue, I like blue.                      Pink, pink, I like pink.                      Red, red, I like red.                      Wow! Beautiful!</p> </div> <p>(2) 絵本読み聞かせ                      「びっくりいろあそび」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>I like～.の表現に慣れてきたら，楽しい雰囲気の中で英語に慣れ親しみながら，自分の考えや気持ちを伝え合うために，チャンツのカラオケバージョンを流して，児童の本当に好きな色を言わせるようにする。</li> <li>色の言い方に慣れ親しませるために，児童に色の言い方を繰り返し聞かせたり言わせたりする。</li> <li>I like～.の表現に慣れ親しませるために，児童に好みを表す表現を繰り返し聞かせたり言わせたりする。</li> </ul>	

Red	starfish
Blue	parrot
Yellow	chick
Purple	butterfly
Green	snake
Orange	tiger
Brown	monkey
Pink	flamingo
Black and White	penguin
All Colors	fish

CS s 「気付く」

I like ~.の表現を繰り返し言わせる際は、ハートリピート（自分の気持ちを込めて、繰り返して言う）することを伝える。例えば、大好きなものの場合、強調して大きな声で言うなどのモデルを示す。

CS s 「気付く」

（児童が発話に詰まった場合などを取り上げて）教師が繰り返しをお願いすることによって、相手の話していることがよく分からないときのお願いの仕方やその意図に気付かせる。

What? Sorry? Pardon?

One more time, please.

Say again. Slowly, please. など

- ・ 指導者の好きなもの、そうではないものを表す表現を聞く。

- ・ I like ~.の表現に慣れ親しませるとともに、I don't like ~.の表現に気付くことができるように、絵本の色や動物などを示しながら、自身の好きなもの、嫌いなものを I [like / don't like] ~.を使って紹介する。その際、一方的に紹介するのではなく、児童に Do you like ~? と尋ねたり、その答えに応じて You [like / don't like] ~. と返したりして、第3時につながるようにする。

CS s 「気付く」

表情やジェスチャーなどを手掛かりにして、I don't like ~.の表現に気付かせる。

CS s 「気付く」

児童の答えに対して、発話を引き出す反応を返すことによって、対話を続けようとする意図に気付かせる。

Really? How about you? など

すきかきらいかつたえよう

- ・ 児童が目的をもって活動できるように、本時は、好きか嫌いか伝えることで、友達のことを知ったり、自分のことを知ってもらったりすることを伝える。

(3) 【Let's Listen②】

- 音声を聞き、登場人物の好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を書く。

- ① Hi, I'm Takeru.  
I like soccer. I don't like baseball.
- ② Hello. My name is Sayo.  
I like basketball. I don't like swimming.
- ③ Hello! I'm Emily.  
I like swimming. I don't like dodgeball.

(4) 【Let's Chant】 I like blue

(②スポーツ編)

- 音声に合わせて英語を言う。

“I like soccer.” (スポーツ編)  
I like soccer. I like dodgeball.  
Ummm, I don't like baseball.  
I like tennis. I like basketball.  
Ummm, I don't like swimming.

(5) 「カード・デスティニー・ゲーム」

- 「カード・デスティニー・ゲーム」をして、好みを表す表現を聞いたり言ったりする。

「カード・デスティニー・ゲーム」

- ペアで行う。
- 児童用カード(色, スポーツ) 1セット分を2人で分けて持つ。
- 指導者も同じカードを持ち、その中から1枚引いて, “Soccer!”等と言う。
- 言われたカードを持っている児童は, I [like / don't like] ~. と自分の気持ちを言いながらカードを机に置く。
- 手持ちのカードがなくなったら上がり。

T : The first card is “red”!  
Who has the “red” card?  
Please say,  
“I like red.” or “I don't like red.”  
and put the “red” card down  
on your desk.

S1 : I like red.

S2 : OK.

T : Next card is “swimming”

S2 : I don't like swimming.

S1 : Pardon?

S2 : I don't like swimming.

- 音声を聞かせる前に登場人物の好みを予想させることによって, 自身の予想が合っているかを確認するために音声を聞くという目的をもたせるようにする。

- 日本語との音声の違い等に気付くことができるように, スポーツの言い方を再度聞かせ, 児童に繰り返させる。児童に繰り返させる際には, 指導者も一緒に言い, 語のイントネーションを手の上下で示すなどして, 音声だけではその特徴をつかみにくい児童も音声の違いに気付きやすいようにする。

- 児童が, 繰り返し好みを表す表現を聞いたり言ったりできるように, また, 相手が話していることに対して反応が返せるように, ペアで「カード・デスティニー・ゲーム」を行う。

CS s 「気付く」

ゲームの進め方を説明する際, 好きか嫌いか気持ちが伝わるように, 表情や口調を工夫して話すモデルを示す。

CS s 「使い慣れる」

児童に反応を返すことを促す。

OK. Wow! Good! Great!

Me, too. (繰り返し)!

ジェスチャー など

相手の話していることがよく分からないときは, お願いすることを促す。

What? Sorry? Pardon?

One more time, please.

Say again. Slowly, please. など

<p>4 振り返り  (1) 振り返りをする。  ・ 振り返りカードにCSsを使用したかどうかを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSsの使い方に気付き、使い慣れていくことができるように、使用した場面に応じて振り返りを行い、できるようになったことやできるようになりたいことを記述させる。</li> <li>学習内容をより深めることができるように、数名の児童に発表させる。</li> <li>児童の学習意欲を高めていくことができるように、英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。</li> </ul>	
<p>5 挨拶  (1) 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>T : Good bye, everyone.  S : Good bye.  T : See you, next.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時に向けて、英語への関心をつなげることができるように、笑顔で挨拶をする。</li> </ul>	

板書計画

Clear Voice

Always Smile

Reaction

Eye contact

Request

Today's menu

- 1 Greetings
- 2 Review
- 3 Let's Chant
- 4 Story-telling
- 5 Key Phrases
- 6 Let's listen
- 7 Let's Chant
- 8 Game Time
- 9 Reflection Time

すきかきらいかつたえよう

  
I like ~.

  
I don't like ~.

単元名 Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう 3 / 8時間  
ねらい 好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、自分の好みを伝え合う。

学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 英語で挨拶をしたり、質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning. T : How are you? S : I'm fine. How are you? T : I'm fine, thank you. T : What day is it today? S : It's (Tuesday). T : What's the date today? S : It's (October 27<sup>th</sup>). T : How's the weather today? S : It's (sunny) and (cool).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように、英語で挨拶させたり、気分や曜日、天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">コミュニケーション・ストラテジー</p> <p style="text-align: center;">(以下CSs)「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において、教師がCSs使用のモデルを示す。 ジェスチャー、表情、視線、具体物、指差し、口調 など</p> </div>	
<p>2 前時の振り返り</p> <p>(1) 指導者と数名の児童でやり取りし、I [like / don't like] ~.の表現を想起するとともに、Do you like ~?の表現の意味を理解する。</p> <p>T : I like orange juice. I don't like milk. ...</p> <p>T : I like ice cream. Yes? No? S : Yes, I like ice cream. ...</p> <p>T : Do you like ice cream? S : Yes, I like ice cream. T : Good!</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">CSs「気付く」</p> <p>ストラテジーリストを提示し、聞き手の反応の仕方やお願いの仕方について学習したことを想起させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時で使いたい表現 Do you like ~?の意味を理解することができるように、既習の表現 I [like / don't like] ~.を用いたやり取りの中で使ってみせる。まず、色、スポーツ、食べ物などの絵カードから、教師自身が好きなものと嫌いなものを言い、黒板に示したハート、割れたハートの下に絵カードを貼っていく。次に、数名の児童に Yes? / No?と尋ね、I [like / don't like] ~.と答えさせる。再度、Do you like ~?の表現を用いて尋ね、I [like / don't like] ~.と答えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">CSs「気付く」</p> <p>教師が非言語による工夫を加えて話すことによって、話し手の工夫の仕方やその意図に気付かせる。 ジェスチャー、表情、視線、具体物、指差し、口調 など 例えば、好き嫌いだけでなく、大好きや大嫌いも分かるように、強調して伝える。また、どちらでもない場合は、どう表現するとよいかを考えさせる。</p> </div>	

	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">CSs 「使い慣れる」</p> <p>児童に反応を返すことを促す。  <b>OK. Wow! Good! Great!</b>  <b>Me, too.</b> (繰り返し) !          ジェスチャー など          相手の話していることがよく分からないときは、お願いすることを促す。  <b>What? Sorry? Pardon?</b>  <b>One more time, please.</b>  <b>Say again. Slowly, please.</b> など</p> </div>	
--	--	--

<p>3 慣れ親しむ活動</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">       すきかどうかをたずねたり答えたりしよう     </div> <p>(1) 【Let's Watch and Think②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物が好きかどうかを予想して○や×を手で示し、Do you like ~?と尋ねる。</li> </ul> <p><b>T : Let's ask together.</b>  <b>Do you like ~?</b>  <b>S : Do you like ~?</b></p> <p>(2) 「○×クイズ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達に好き嫌いを尋ねる。</li> <li>前の活動と同様に、友達が好きかどうかを予想して○や×を手で示し、Do you like ~?と尋ねる。</li> </ul> <p><b>T : Let's ask S1 together.</b>  <b>Do you like ~?</b>  <b>S : Do you like ~?</b>  <b>S1 : Yes, I do. / No, I don't.</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が目的をもって活動できるように、本時は、好きかどうかを尋ねたり答えたりして、自分の好みを伝え合うことを伝える。</li> <li>Do you like ~?の表現に慣れ親しませるために、画面に出ている登場人物に向かって、好きかどうかを全員で尋ねさせる。</li> <li>登場人物の好みを予想して、○や×を手で示させる。登場人物の好みを予想させることを通して、答えを確かめたいという目的意識とともに、答えを聞く必然性をもたせるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">CSs 「使い慣れる」</p> <p>児童に反応を返すことを促す。  <b>OK. Wow! Good! Great!</b>  <b>Me, too.</b> (繰り返し) !          ジェスチャー など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't.の表現に慣れ親しませるために、好きかどうかを尋ねたり答えたりさせて、この後のインタビューにつながるようにする。まず、代表の児童 (S1) を前に出す。次に、S1 以外の児童で、ランダムに選んだ絵カードについて、好みを予想し、○×を手で示させる。その後、全員で Do you like ~? と S1 に尋ねさせる。S1 が、Yes, I do. / No, I don't.と答え、予想と合っているかどうかを確認させる。</li> <li>前の活動と同様に、友達の好みを予想させることを通して、答えを確かめたいという目的意識とともに、答えを聞く必然性をもたせるようにする。</li> </ul>	
---	--	--

<p>(3) 【Let's Chant】 I like blue (③QA 編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声に合わせて英語を言う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>“Do you like soccer?” (QA 編) Do you like soccer? Yes, I do. Do you like baseball? Yes, I do. Do you like swimming? No, I don't. I don't like swimming.</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>CS s 「使い慣れる」 児童に反応を返すことを促す。 <b>OK. Wow! Good! Great!</b> <b>Me, too.</b> (繰り返し) ! ジェスチャー など 相手の話していることがよく分からないときは、お願いすることを促す。 <b>What? Sorry? Pardon?</b> <b>One more time, please.</b> <b>Say again. Slowly, please.</b> など</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p>CS s 「気付く」 児童の答えに対して、発話を引き出す反応を返すことによって、対話を続けようとする意図に気付かせる。 <b>Really? Why?</b> など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. の表現に慣れ親しませるために、英語を言わせる。</li> </ul>	
<p>4 コミュニケーション活動</p> <p>(1) インタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアの友達の好き嫌いを予想して、インタビューし合う。</li> </ul> <p>S1 : Do you like ~? S2 : Yes, I do. / No, I don't. S1 : OK.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「尋ねたい」という気持ちを高めることができるように、普段の様子から、友達の好みを予想させる。友達の好き嫌いを予想し、ワークシートに○△を書かせることで、予想と合っているかを確認する目的をもって互いに尋ね合うようにさせる。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>CS s 「使い慣れる」 児童に反応を返すことを促す。 <b>OK. Wow! Good! Great!</b> <b>Me, too.</b> (繰り返し) ! ジェスチャー など 相手の話していることがよく分からないときは、お願いすることを促す。 <b>What? Sorry? Pardon?</b> <b>One more time, please.</b> <b>Say again. Slowly, please.</b> など</p> </div>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアの相手を替えて再度行う。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>C S s 「使い慣れる」</b></p> <p>中間評価を行うことによって、工夫して話したり、反応を返して聞いたりすることを価値付け、共有する。その際、やり取りのよい例だけでなく、困り感についても取り上げるようにし、みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して、伝え合おうとする態度を評価する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝え合った内容を振り返ることができるように、友達の好みが予想通りだったことや友達の新たな一面を知ったことなどを発表させる。</li> </ul>	
<p>5 振り返り</p> <p>(1) 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードにC S sを使用したかどうかを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C S sの使い方に気付き、使い慣れていくことができるように、使用した場面に応じて振り返りを行い、できるようになったことやできるようになりたいことを記述させる。</li> <li>学習内容をより深めることができるように、数名の児童に発表させる。</li> <li>児童の学習意欲を高めていくことができるように、英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。</li> </ul>	
<p>6 挨拶</p> <p>(1) 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : Good bye, everyone. S : Good bye. T : See you, next.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時に向けて、英語への関心をつなげることができるように、笑顔で挨拶をする。</li> </ul>	

板書計画

Clear Voice

Always Smile

Reaction

Eye contact

Today's menu

- 1 Greetings
- 2 Review
- 3 Key Phrases
- 4 Let's Watch and Think
- 5 Game Time
- 6 Let's Chant
- 7 Activity
- 8 Reflection Time

すきかどうかをたずねたり答えたりしよう

  
 I like ~.

  
 I don't like ~.

Do you like ~?

Yes, I do.

No, I don't.

Reaction

Gesture

Request

単元名 Unit 4 I like blue. すきなものをつたえよう 4 / 8時間 ねらい 相手に伝わるように工夫しながら話したり，反応を返しながら聞いたりして，自分の好みを紹介し合おうとする。		
学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 挨拶 (1) 英語で挨拶をしたり，質問に答えたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             T : Good morning, everyone.              S : Good morning.              T : How are you?              S : I'm fine. How are you?              T : I'm fine, thank you.              T : What day is it today?              S : It's (Friday).              T : What's the date today?              S : It's (October 30<sup>th</sup>).              T : How's the weather today?              S : It's (sunny) and (cool).           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように，英語で挨拶させたり，気分や曜日，天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">コミュニケーション・ストラテジー</p>  <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">(以下CSs)「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において，教師がCSs使用のモデルを示す。 ジェスチャー，表情，視線，具体物，指差し，口調 など</p> </div>	
2 前時の振り返り (1) 指導者と数名の児童でやり取りし， Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. I [like / don't like] ~.の表現を想起する。 T : Tomorrow is a special day. What is "special"? Tomorrow, October 31 <sup>st</sup> , is... S : "Halloween". T : That's right. Tomorrow is "Halloween". Do you like "Halloween"? S : Yes, I do. / No, I don't. T : Do you like pumpkins? S : Yes, I do. / No, I don't. T : Do you like chocolates? S : Yes, I do. / No, I don't. T : Do you like ghosts? S : Yes, I do. / No, I don't.	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSs「気付く」 ストラテジーリストを提示し，聞き手の反応の仕方やお願いの仕方，話し手の工夫の仕方について学習したことを想起させる。</li> <li>Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't.の表現に慣れ親しませるために，季節の話題についてやり取りを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">CSs「使い慣れる」</p> <p>工夫して話したり，反応を返して聞いたりすることを促す。</p> </div>	
3 コミュニケーション活動 <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">             自分のこのみをしょうかいしよう           </div> (1) 自己紹介 <ul style="list-style-type: none"> <li>好きなものや好きでないものを絵や言葉で表して，自己紹介シートを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が目的をもって活動できるように，本時は，自分の好みを交えて自己紹介をしようことを伝える。</li> <li>I [like / don't like] ~.の表現を使うことができるように，好きなものだけでなく，好きでないものについても，絵や言葉で表して，自己紹介シートを作成させる。</li> <li>I [like / don't like] ~.の表現に不安のある児童も自信をもって次の自己紹介の活動に取り組むことができるように，児童が自己紹介シートを作成している間に，個別に声をかけ，You like ~. That's good. Do you like ~? などとやり取りをする。</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好みを交えて、自己紹介をし合う。</li> </ul> <p>S1 : Hello. I'm ~. I like ~. I don't like ~.</p> <p>S2,3 : OK.</p> <p>S2 : Do you like ~?</p> <p>S1 : Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>S2,3 : Good!</p> <p>S3 : Do you like ~?</p> <p>S1 : Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>S2 : Me, too.</p> <p>S3 : Me, too.</p> <p>S1 : Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや気持ちを伝え合うために、既習の言語材料以外でも、児童の本当の好みを交えてよいことを伝える。</li> <li>自己紹介の仕方を理解させるために、指導者がモデルを示す。</li> <li>話し手が、やり取りする相手を意識しやすいように、3, 4人のグループの中で、1人ずつ自己紹介を行わせる。</li> <li>聞き手は、自己紹介を聞いた後、自分の立場で考えて反応を返したり、Do you like ~?の表現を使って質問をしたりすることによって、やり取りを続けることができるようにさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>CS s 「使い慣れる」</p> <p>工夫して話したり、反応を返して聞いたりすることを促す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>CS s 「使い慣れる」</p> <p>中間評価を行うことによって、工夫して話したり、反応を返して聞いたりすることを価値付け、共有する。その際、やり取りのよい例だけでなく、困り感についても取り上げるようにし、みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して、伝え合おうとする態度を評価する。</p> </div>	
<p>4 振り返り</p> <p>(1) 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードに使用したCS s となぜ使用したのかを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのように伝え合おうとしたのかを振り返ることができるように、CS s 使用の意図を説明させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>CS s 「実感する」</p> <p>ストラテジーリストを用いて振り返りを行うことによって、CS s 使用の意図を説明させる。「使用したCS s となぜ使用したのか」を説明させることを通して、実際にやり取りを行っているときには、無意識に使用していた場合であっても、意識化させるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容をより深めることができるように、数名の児童に発表させる。</li> <li>児童の学習意欲を高めていくことができるように、英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。</li> </ul>	

<p>5 挨拶</p> <p>(1) 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : Good bye, everyone.  S : Good bye.  T : See you, next.</p> </div>	<p>・ 次時に向けて, 英語への関心をつなげることができるよう, 笑顔で挨拶をする。</p>	
---	---	--

板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">Clear Voice</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">Always Smile</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">Reaction</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Eye contact</div>	<p><u>自分のこのみをしようかいしよう</u></p>  	<p>Hello. I'm ~.</p> <p>I like ~.</p> <p>I don't like ~.</p> <p>Do you like ~?</p> <p>Yes, I do.</p> <p>No, I don't.</p> <p>Thank you.</p>	<p>コミュニケーション GOGO 作せん</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; width: 50%;">Reaction</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 50%;">Gesture/Word</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; width: 50%;">Request</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 50%;">Gesture/Word</div> </div>
<p>Today's menu</p> <p>1 Greetings</p> <p>2 Review</p> <p>3 Activity</p> <p>4 Reflection Time</p>			

単元名 Unit 5 What do you like? 何が好き? 5 / 8 時間  
ねらい 身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねる表現を知る。

学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 英語で挨拶をしたり、質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning. T : How are you? S : I'm fine. How are you? T : I'm fine, thank you. T : What day is it today? S : It's (Wednesday). T : What's the date today? S : It's (November 4<sup>th</sup>). T : How's the weather today? S : It's (sunny) and (cool).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように、英語で挨拶させたり、気分や曜日、天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">コミュニケーション・ストラテジー (以下CSs)「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において、教師がCSs使用のモデルを示す。 ジェスチャー、表情、視線、具体物、指差し、口調 など</p> </div>	
<p>2 前時の振り返り</p> <p>(1) Unit 4 で、Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. 及び I [like / don't like] ~. の表現を学習したことを想起する。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">CSs「気付く」</p> <p>ストラテジーリストを提示し、聞き手の反応の仕方やお願いの仕方、話し手の工夫の仕方について学習したことを想起させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の表現を想起させることによって、続いて行う帯活動に意欲をもって取り組めるようにする。</li> </ul>	
<p>3 帯活動 テーマ：好きな色</p> <p>(1) 既習の表現を用いて、ペアで簡単なコミュニケーション活動を行うことを知る。</p> <p>(2) 指導者と数名の児童でやり取りし、見通しをもつ。 T : Hello, I'm ~. S : Hi, I'm ~. T : Do you like blue? S : Yes, I do. / No, I don't. T : Good.</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。 ・ 1 回目のやり取りの後で、振り返りを共有し、相手を変えて2回目のやり取りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションによってお互いを知ることができるよさを確認できるように、前時に好みを交えて自己紹介し合った活動で、友達のことを知り、友達に自分のことを知ってもらえた点を評価する。</li> <li>やり取りを見ている児童にも、既習の表現が使えているかどうか気付きを促すことによって、活動の見通しをもたせる。</li> <li>やり取りを続けることができるように、与えた時間いっぱい活動させる。また、英語で言うことが難しい場合については、日本語で表現してもよいことを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">CSs「使い慣れる」</p> <p>工夫して話したり、反応を返して聞いたりすることを促す。</p> </div>	

	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>C S s 「使い慣れる」</b></p> <p>中間評価を行うことによって、工夫して話したり、反応を返して聞いたりを価値付け、共有する。その際、やり取りのよい例だけでなく、困り感についても取り上げるようにし、みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して、伝え合おうとする態度を評価する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を繰り返し使ったり、うまくいかなかった部分を修正したりするために、相手を変えて2回目のやり取りをさせる。</li> </ul>	
<p>4 慣れ親しむ活動</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>みのまわりのものの言い方を知ろう</p> </div> <p>(1) 身の回りの物の言い方を知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 p 18, 19 の絵を見ながら、身の回りの物の言い方を知る。</li> </ul> <p>T : Look at pages 18 and 19 of your textbooks. What can you find?</p> <p>S : Apples.</p> <p>T : Oh, apples. Do you like apples?</p> <p>S : Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>T : I see.</p> <p>...</p> <p>T : I like it. What's it?</p> <p>S : Hint please.</p> <p>T : It's a sport.</p> <p>S : One more hint please.</p> <p>T : Um..., 1, 2, attack! (ジェスチャーを交えて)</p> <p>S : It's volleyball.</p> <p>T : That's right. I like volleyball. How about you?</p> <p>S : Me, too.</p> <p>(2) 「ポインティング・ゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームを始める前に、音声を聞き、繰り返して言う。</li> <li>音声を聞いて教科書の絵を指でさしながら、繰り返して言う。</li> </ul> <p>T : Let's play the Pointing Game. "hamburger"</p> <p>S : It's hamburger. (指でさしながら)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Unit 5 でも、引き続き好みについて伝え合うことを知らせる。そして、児童が目的をもって活動できるように、本時は、身の回りの物の言い方を知り、好みを伝える際に使える言葉を増やすことを伝える。</li> <li>教科書の食べ物やスポーツなどについて、ただ言い方を知るだけの活動にならないように、児童に好きなものを尋ねたり、ヒントを与えて答えさせたりするなどして、興味付けを図るようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>C S s 「気付く」</b></p> <p>児童の答えに対して、発話を引き出す反応を返すことによって、対話を続けようとする意図に気付かせる。 <b>Really? Why?</b> など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの物の言い方に慣れ親しませるために、音声を何度も繰り返し聞かせたり言わせたりする。また、日本語と英語の音声の違いについて、体験的に感じ取らせるように、気付いたことを発言させる。</li> </ul>	

<p>(3) 「何が好き？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りの様子から、何が好きかを尋ねる表現を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : I'm going to bring you some food.</p> <p>校長 : Wow. (笑顔で)</p> <p>T : Do you like pizza?</p> <p>校長 : Sorry. No, I don't.</p> <p>T : That's OK. How about spaghetti? Do you like spaghetti?</p> <p>校長 : Sorry. No, I don't.</p> <p>T : I see. How about hamburger? Do you like hamburger?</p> <p>校長 : Hamburger? Um... Soso.</p> <p>T : Oh. Ummm... (悩む表情で)</p> <p style="text-align: center;">※</p> <p>T : What food do you like?</p> <p>校長 : I like sushi!</p> <p>T : Good. I like sushi, too. I like salmon.</p> <p>校長 : Salmon? Good.</p> <p>T : How about you?</p> <p>校長 : I like shrimp.</p> <p>T : Oh, shrimp.</p> <p>校長 : Yes.</p> <p>T : That's good. OK! I'm going to bring you sushi.</p> <p>校長 : I'm happy. (嬉しそうに)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童に What ~ do you like? の意味を場面から推測させるようにするために、事前に校長に協力してもらい、No, I don't. と繰り返し答えている様子、最後に I like ~. と答えている様子をビデオに撮っておき、※の場面でやり取りを一時停止させて、何と言って尋ねたらよいかを考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>CSs 「気付く」</p> <p>表情やジェスチャーなどを手掛かりにして、What ~ do you like? の表現に気付かせる。</p> </div>	
<p>5 振り返り</p> <p>(1) 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りカードにCSsを使用したかどうかを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSsの使い方に気付き、使い慣れていくことができるように、使用した場面に応じて振り返りを行い、できるようになったことやできるようになりたいことを記述させる。</li> <li>学習内容をより深めることができるように、数名の児童に発表させる。</li> <li>児童の学習意欲を高めていくことができるように、英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。</li> </ul>	
<p>6 挨拶</p> <p>(1) 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>T : Good bye, everyone.</p> <p>S : Good bye.</p> <p>T : See you, next.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時に向けて、英語への関心をつなげることができるように、笑顔で挨拶をする。</li> </ul>	

板書計画

Clear Voice	<u>みのまわりのものの言い方を知ろう</u>	コミュニケーション GOGO 作せん		
Always Smile	Do you like ~?			Reaction
Reaction		Yes, I do.	Request	Gesture/Word
Eye contact		No, I don't.		
Today's menu 1 Greetings 2 Review 3 Activity 4 Game Time 5 Key Phrases 6 Reflection Time				

単元名 Unit 5 What do you like? 何が好き? 6 / 8時間

ねらい 身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 英語で挨拶をしたり、質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T: Good morning, everyone.            S: Good morning.            T: How are you?            S: I'm fine. How are you?            T: I'm fine, thank you.            T: What day is it today?            S: It's (Tuesday).            T: What's the date today?            S: It's (November 10<sup>th</sup>).            T: How's the weather today?            S: It's (sunny) and (cool).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように、英語で挨拶させたり、気分や曜日、天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>コミュニケーション・ストラテジー            (以下CSs)「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において、教師がCSs使用のモデルを示す。            ジェスチャー、表情、視線、具体物、指差し、口調 など</p> </div>	
<p>2 帯活動 テーマ:好きなスポーツ</p> <p>(1) 前時の帯活動を振り返る。</p> <p>(2) 指導者と数名の児童でやり取りし、見通しをもつ。            T: Hello, I'm ~.            S: Hi, I'm ~.            T: Do you like table tennis?            S: Yes, I do.            T: You like table tennis, OK?            S: Yes.            T: OK!</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目のやり取りの後で、振り返りを共有し、相手を変えて2回目のやり取りを行う。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>CSs「気付く」</p> <p>ストラテジーリストを提示し、聞き手の反応の仕方やお願いの仕方、話し手の工夫の仕方について学習したことを想起させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを続けようとしている姿勢を褒めたり、難しいと感じる気持ちに共感したりすることによって、帯活動に意欲をもって取り組めるようにする。</li> <li>やり取りを見ている児童にも、既習の表現が使えているかどうか気付きを促すことによって、活動の見通しをもたせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>CSs「気付く」</p> <p>(児童が発話に詰まった場合などを取り上げて)教師が確認したり説明を求めたりすることによって、相手の話していることがよく分からないときのお願いの仕方やその意図に気付かせる。            (相手の発言), OK?            What is ~? など</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りを続けることができるように、与えた時間いっぱい活動させる。また、英語で言うことが難しい場合については、日本語で表現してもよいことを伝える。</li> </ul>	

	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>CSs 「使い慣れる」 工夫して話したり，反応を返して聞いたりすることを促す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>CSs 「使い慣れる」 中間評価を行うことによって，工夫して話したり，反応を返して聞いたりすることを価値付け，共有する。その際，やり取りのよい例だけでなく，困り感についても取り上げるようにし，みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して，伝え合おうとする態度を評価する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を繰り返し使ったり，うまくいかなかった部分を修正したりするために，相手を変えて2回目のやり取りをさせる。</li> </ul>	
<p>3 前時の振り返り</p> <p>(1) 指導者と数名の児童でやり取りし，What ~ do you like? I like ~.の表現を学習したことを想起する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に学習した身の回りの物の言い方を確認できるように，色，果物，食べ物，スポーツのカテゴリーの中から，いくつか尋ねる。</li> </ul>	
<p>4 慣れ親しむ活動</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>何が好きかをたずねたり答えたりしよう</p> </div> <p>(1) 【Let's Chant】 What do you like? (①色編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声に合わせて英語を言う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>“What do you like” (色編) What color do you like? What color do you like? I like red. I like blue. I like red and blue. What color do you like? What color do you like? I like green. I like yellow. I like green and yellow. Wow! Nice T-shirt!</p> </div> <p>(2) 「ステレオゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ステレオゲーム」をして，何が好きか尋ねたり答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が目的をもって活動できるように，本時は，何が好きかを尋ねたり答えたりして，自分の好みを伝え合うことを伝える。</li> <li>What ~ do you like? と I like ~. の表現に慣れ親しませるために，英語を言わせる。</li> <li>What ~ do you like? と I like ~. の表現に慣れ親しませるために，また，相手が話していることを聞き取ろうとするように，ステレオゲームを行う。</li> </ul>	

<p>「ステレオゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6名程度の児童を前に並ばせる。</li> <li>・ 他の児童が一斉に, What ~ do you like? と尋ねる。</li> <li>・ 前に並んだ児童は, I like ~. と一斉に自分の好きなものを答える。</li> <li>・ 他の児童は, 聞こえたものを発表する。</li> <li>・ 前に並ぶ児童を入れ替え, 尋ねるカテゴリを変えて数回行う。</li> </ul>	<p>CSs 「使い慣れる」</p> <p>児童に反応を返したり, 対話を続けようとしたりすることを促す。</p> <p>OK. Wow! Good! Great! Me, too. (繰り返し)!</p> <p>ジェスチャー</p> <p>Really? Why? など</p> <p>相手の話していることがよく分からないときは, 繰り返しをお願いしたり, 確認や説明を求めたりすることを促す。</p> <p>What? Sorry? Pardon? One more time, please. Say again. Slowly, please. (相手の発言), OK? What is ~? など</p>	
<p>5 振り返り</p> <p>(1) 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りカードにCSsを使用したかどうかを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CSsの使い方に気付き, 使い慣れていくことができるように, 使用した場面に応じて振り返りを行い, できるようになったことやできるようになりたいことを記述させる。</li> <li>・ 学習内容をより深めることができるように, 数名の児童に発表させる。</li> <li>・ 児童の学習意欲を高めていくことができるように, 英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。</li> </ul>	
<p>6 挨拶</p> <p>(1) 挨拶をする。</p> <div data-bbox="172 1294 580 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T : Good bye, everyone. S : Good bye. T : See you, next.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次時に向けて, 英語への関心をつなげることができるように, 笑顔で挨拶をする。</li> </ul>	

板書計画

Today's menu

- 1 Greetings
- 2 Activity
- 3 Review
- 4 Key Phrases
- 5 Let's Chant
- 6 Game Time
- 7 Reflection Time

何がすきかをたずねたり答えたりしよう

What ~ do you like?

I like ~.

コミュニケーション  
GOGO 作せん

Reaction	Gesture/Word
Request	Gesture/Word

色  
カード

スポーツ  
カード

食べ物  
カード

くだ物  
カード

単元名 Unit 5 What do you like? 何が好き? 7 / 8時間  
ねらい 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。

学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 英語で挨拶をしたり，質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning. T : How are you? S : I'm fine. How are you? T : I'm fine, thank you. T : What day is it today? S : It's (Friday). T : What's the date today? S : It's (November 13<sup>th</sup>). T : How's the weather today? S : It's (sunny) and (cool).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように，英語で挨拶させたり，気分や曜日，天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">コミュニケーション・ストラテジー (以下CSs) 「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において，教師がCSs使用のモデルを示す。 ジェスチャー，表情，視線，具体物，指差し，口調 など</p> </div>	
<p>2 帯活動 テーマ：好きな食べ物</p> <p>(1) 前時の帯活動を振り返る。</p> <p>(2) 指導者と数名の児童でやり取りし，見通しをもつ。</p> <p>T : Hi, ~. S : Hi, ~. T : Do you like rice ball? S : Yes, I do. (児童に同じように尋ねるように促す) S : Do you like rice ball? T : Yes, I do. Well..., I like ...red ball, Um..., (酸っぱい表情をして) S : Ume, OK? T : That's right! I like ume rice ball. How about you? S : I don't like ume rice ball. T : I see.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを続けようとしている姿勢を褒めたり，難しいと感じる気持ちに共感したりすることによって，帯活動に意欲をもって取り組めるようにする。</li> <li>やり取りを見ている児童にも，既習の表現が使えているかどうか気付きを促すことによって，活動の見通しをもたせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">CSs 「気付く」</p> <p>ストラテジーリストを提示し，聞き手の反応の仕方やお願いの仕方，話し手の工夫の仕方について学習したことを想起させる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">CSs 「気付く」</p> <p>教師が言語による工夫を加えて話すことによって，話し手の工夫の仕方やその意図に気付かせる。 一言付け加えたり，相手に意見を求めたりする。また，つなぎ語や，場合によっては日本語を使用して，対話を続けようとする。 (質問の答え) + (一言) How about you? Um..., Well..., (日本語の使用) など 例えば，おむすびが好きだという答えに続いて，梅のおむすびが好きだと付け加える。英語で何と言ってよいか分からないときは，言い換えやジェスチャーを交えて伝えようとする。</p> </div>	

<p>(3) 児童同士でやり取りする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1回目のやり取りの後で、振り返りを共有し、相手を変えて2回目のやり取りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やり取りを続けることができるように、与えた時間いっぱい活動させる。また、英語で言うことが難しい場合については、日本語で表現してもよいことを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>CSs 「使い慣れる」 工夫して話したり、反応を返して聞いたりすることを促す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>CSs 「使い慣れる」 中間評価を行うことによって、工夫して話したり、反応を返して聞いたりすることを価値付け、共有する。その際、やり取りのよい例だけでなく、困り感についても取り上げるようにし、みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して、伝え合おうとする態度を評価する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を繰り返し使ったり、うまくいかなかった部分を修正したりするために、相手を変えて2回目のやり取りをさせる。</li> </ul>	
<p>3 前時の振り返り</p> <p>(1) 指導者と数名の児童でやり取りし、What ~ do you like? I like ~.の表現を学習したことを想起する。</p> <p>T : What number do you like? S : I like 3. T : I see. ... T : What alphabet do you like? S : I like M. T : Me, too.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第8時で、何が好きかを伝え合い、クラスの「ベスト〇〇」調査を行うことを伝える。調査の見通しをもって意欲的に活動に取り組めるように、扱うカテゴリーを増やして尋ねる。これまでの学習で慣れ親しんだ数字やアルファベットなどを扱う。</li> </ul>	
<p>4 コミュニケーション活動</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>友だちは何が好きかインタビューしよう</p> </div> <p>(1) インタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と好きなものをインタビューし合う。</li> </ul> <p>S1 : Hi, ~. S2 : Hi, ~. S1 : What food do you like? S2 : I like cake. S1 : Me, too. What cake do you like? S2 : I like chocolate cake. How about you?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が目的をもって活動できるように、本時は、友達は何が好きかインタビューし合うことを伝える。</li> <li>「尋ねたい」という気持ちを高めることができるように、ペアの友達の普段の様子から、尋ねたいカテゴリーを選ばせる。カテゴリーについては、既習の「色」「スポーツ」「食べ物」「果物」の中から選ばせるが、答えについては、自分の本当の好みを伝え合うことができるように、既習の語句でなくてもよいことを伝える。その際、言い換えやジェスチャーなどを交えて、できるだけ言葉で伝え合うようにさせる。</li> </ul>	

<p>S1 : I like cheese cake. S2 : Good! S1,2 : Thank you.</p> <p>・ ペアの相手を替えて再度行う。</p> <p>・ 次時に行う活動，クラスの「ベスト〇〇」調査で，既習の「色」「スポーツ」「食べ物」「果物」に加えて，どのようなカテゴリーについて調べるかを話し合う。</p> <p>T : What anime do you like? S : I like Kimetsu no yaiba. T : Oh! Do you like Tanjiro? S : Yes, I do.</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>CSs 「使い慣れる」</p> <p>工夫して話したり，反応を返して聞いたりして，対話を続けようとすることを促す。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>CSs 「使い慣れる」</p> <p>中間評価を行うことによって，工夫して話したり，反応を返して聞いたりすることを価値付け，共有する。その際，やり取りのよい例だけでなく，困り感についても取り上げるようにし，みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して，伝え合おうとする態度を評価する。</p> </div> <p>・ 次時の活動に意欲をもって取り組めるように，友達に何が好きかを尋ねてみたいカテゴリーを考えさせる。また，そのカテゴリーについて，指導者が数名の児童に尋ね，活動の見通しをもたせるようにする。</p>	
<p>5 振り返り</p> <p>(1) 振り返りをする。</p> <p>・ 振り返りカードにCSsを使用したかどうかを書く。</p>	<p>・ CSsの使い方に気付き，使い慣れていくことができるように，使用した場面に応じて振り返りを行い，できるようになったことやできるようになりたいことを記述させる。</p> <p>・ 学習内容をより深めることができるように，数名の児童に発表させる。</p> <p>・ 児童の学習意欲を高めていくことができるように，英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。</p>	
<p>6 挨拶</p> <p>(1) 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>T : Good bye, everyone. S : Good bye. T : See you, next.</p> </div>	<p>・ 次時に向けて，英語への関心をつなげることができるように，笑顔で挨拶をする。</p>	

板書計画

Today's menu 1 Greetings 2 Activity 3 Review 4 Activity 5 Reflection Time	<u>友だちは何が好きかインタビューしよう</u>		コミュニケーション GOGO 作せん	
	Hi. ~.	Hi. ~.	Reaction	Gesture/Word
	What ~ do you like?	I like ~.	Request	Gesture/Word
	色 カード	スポーツ カード	食べ物 カード	くだ物 カード
Thank you.				

単元名 Unit 5 What do you like? 何が好き? 8/8時間  
ねらい 相手に伝わるように工夫しながら話したり, 反応を返しながら聞いたりして, 何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。

学習活動	指導者の支援及び指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
<p>1 挨拶</p> <p>(1) 英語で挨拶をしたり, 質問に答えたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: Good morning, everyone. S: Good morning. T: How are you? S: I'm fine. How are you? T: I'm fine, thank you. T: What day is it today? S: It's (Tuesday). T: What's the date today? S: It's (November 17<sup>th</sup>). T: How's the weather today? S: It's (sunny) and (cool).</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語への関心を高めることができるように, 英語で挨拶させたり, 気分や曜日, 天気などを答えさせたりする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">コミュニケーション・ストラテジー (以下CSs)「気付く」</p> <p>授業中のあらゆる場面において, 教師がCSs使用のモデルを示す。 ジェスチャー, 表情, 視線, 具体物, 指差し, 口調 など</p> </div>	
<p>2 帯活動 テーマ: 好きな○○</p> <p>(1) 前時の帯活動を振り返る。</p> <p>(2) 指導者と数名の児童でやり取りし, 見通しをもつ。 T: Hi, ~. S: Hi, ~. T: Do you like dogs? (ジェスチャーを交えて) S: Yes, I do. T: I see.</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。 ・ 1回目のやり取りの後で, 振り返りを共有し, 相手を変えて2回目のやり取りを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">CSs「気付く」</p> <p>ストラテジーリストを提示し, 聞き手の反応の仕方やお願いの仕方, 話し手の工夫の仕方について学習したことを想起させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションを続けようとしている姿勢を褒めたり, 難しいと感じる気持ちに共感したりすることによって, 帯活動に意欲をもって取り組めるようにする。</li> <li>やり取りを見ている児童にも, 既習の表現が使えているかどうか気付きを促すことによって, 活動の見通しをもたせる。</li> <li>やり取りを続けることができるように, 与えた時間いっぱい活動させる。また, 英語で言うことが難しい場合については, 日本語で表現してもよいことを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">CSs「使い慣れる」</p> <p>工夫して話したり, 反応を返して聞いたりすることを促す。</p> </div>	

	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">CS s 「使い慣れる」</p> <p>中間評価を行うことによって、工夫して話したり、反応を返して聞いたりすることを価値付け、共有する。その際、やり取りのよい例だけでなく、困り感についても取り上げるようにし、みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して、伝え合おうとする態度を評価する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を繰り返し使ったり、うまくいかなかった部分を修正したりするために、相手を変えて2回目のやり取りをさせる。</li> </ul>	
<p>3 前時の振り返り</p> <p>(1) 指導者と数名の児童でやり取りし、What ~ do you like? I like ~.の表現を学習したことを想起する。</p> <p>T : What anime do you like? S : I like pokemon. T : Good! Do you like Pikachu? S : Yes, I do. T : Me, too.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時に話し合っただけで決めた、クラスの「ベスト〇〇」調査で調べるカテゴリーを確認するとともに、調査の見通しをもって取り組めるように、指導者が数名の児童に尋ね、やり取りをして見せる。</li> </ul>	
<p>4 コミュニケーション活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">       何が好きかをつたえあおう ~3年1組「ベスト〇〇」ちょうさ~     </div> <p>(1) クラスの「ベスト〇〇」調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達と何が好きかを尋ねたり答えたりする。</li> <li>前半で2人とやり取りした後、振り返りを共有し、後半で2~3人とやり取りを行う。</li> </ul> <p>S1 : Hi, ~. S2 : Hi, ~. S1 : What fruit do you like? S2 : I like grapes. S1 : Me, too. ...</p> <p>S2 : What animal do you like? S1 : I like tigers. S2 : Really? S1 : Yes. I like white tigers. How about you? S2 : I don't like tigers. S1 : Wow! S1,2 : Thank you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が目的をもって活動できるように、本時は、何が好きかを伝え合い、クラスの「ベスト〇〇」調査をすることを伝える。</li> <li>尋ねる際は、「尋ねたい」という気持ちを高めることができるように、調べるカテゴリーについて、最も人気のあるものは何かを事前に予想させる。</li> <li>答える際は、自分の本当の好みを伝え合うことができるように、既習の語句でなくてもよいことを伝える。その際、言い換えやジェスチャーなどを交えて、できるだけ言葉で伝え合うようにさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">CS s 「使い慣れる」</p> <p>工夫して話したり、反応を返して聞いたりして、対話を続けようとすることを促す。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>単なる情報交換に終わらないように、答えに一言付け加えさせたり、さらに質問させたりして、与えた時間いっぱいやり取りを続けさせる。</li> </ul>	

「ベスト〇〇」調査

- ・ 調べるカテゴリーは、既習の「色」「スポーツ」「食べ物」「果物」に加えて、前時に話し合っただけのカテゴリー（例えば、アニメ、動物、遊びなど）の5つとする。
- ・ 児童に、自分はどのカテゴリーについて調べるのかを伝え、調査用紙を配る。
- ・ 同じカテゴリーについて調べる者で「ベスト〇〇」調査団を結成する。（調査団は、5～6人で構成され、1人当たり、4～5人分の調査を分担することになる。）
- ・ 調査用紙には、事前に尋ねる相手の名前を記入しておき、重なりや漏れがないようにする。
- ・ 調査用紙の予想欄に、最も人気のあるものを予想して記入する。
- ・ 友達に好きなものを尋ね、答えを調査用紙の回答欄に記入する。調査用紙の回答欄は、付箋を用いて、集計しやすいようにする。
- ・ 分担して調査した回答を集計し、クラスの「ベスト〇〇」を決定する。

- ・ クラスの「ベスト〇〇」を、教室内に掲示して共有する。

T: Best ○○ of 3-1 is …!

S: Oh!

T: Good job, everyone!

CSs「使い慣れる」

中間評価を行うことによって、工夫して話したり、反応を返して聞いたりを価値付け、共有する。その際、やり取りのよい例だけでなく、困り感についても取り上げるようにし、みんなでどのようにしたら伝え合うことができるかを考えることを通して、伝え合おうとする態度を評価する。

- ・ What ~ do you like? I like ~.の表現を用いて、調査活動ができたことを評価し、コミュニケーションによって、学級みんなのを知ることができた喜びを感じられるようにする。

5 振り返り

(1) 振り返りをする。

- ・ 振り返りカードに使用したCSsとなぜ使用したのかを書く。

- ・ どのように伝え合おうとしたのかを振り返ることができるように、CSs使用の意図を説明させる。

CSs「実感する」

ストラテジーリストを用いて振り返りを行うことによって、CSs使用の意図を説明させる。「使用したCSsとなぜ使用したのか」を説明させることを通して、実際にやり取りを行っているときには、無意識に使用していた場合であっても、意識化させるようにする。

- ・ 学習内容をより深めることができるように、数名の児童に発表させる。
- ・ 児童の学習意欲を高めていくことができるように、英語を使おうとする態度や本時のめあてについて児童の良かったところを褒める。

